

# 西東京市の高齢者・介護保険を取り巻く状況①

## 1 西東京市の人口、高齢化率、世帯数等の動向について

西東京市の総人口は、今後減少していく見込みである。一方で、高齢者人口は、2025（令和7）年に52,296人、2040（令和22）年に65,398人になると見込まれる。

また、高齢化率は、2025（令和7）年に25.8%、2040（令和22）年には32.7%と増加する見込みである。

世帯数については、高齢者世帯数の増加とともに、高齢者世帯のうち単独世帯の占める割合は、2025（令和7）年には38.2%、2040（令和22）年には39.7%になると予想される。

	2016（平成28）年 10月1日現在	2020（令和2）年 10月1日現在	2025（令和7）年 ＜推計＞	2040（令和22）年 ＜推計＞
総人口	199,698人	205,907人	202,976人	200,191人
高齢者人口	47,045人	49,183人	52,296人	65,398人
高齢化率	23.6%	23.9%	25.8%	32.7%

（出典）【2020年（令和2年）以前】西東京市「西東京市住民基本台帳（外国人を含む。）」、【2025年（令和7年）以降】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」を基に作成

	2015（平成27）年 10月1日現在	2020（令和2）年 10月1日現在	2025（令和7）年 ＜推計＞	2040（令和22）年 ＜推計＞
総世帯数	89,605世帯	96,896世帯	94,433世帯	94,581世帯
高齢者世帯数	28,047世帯	30,321世帯	32,692世帯	40,254世帯
内訳	単独世帯	9,690世帯	12,486世帯	15,979世帯
	単独世帯率	34.5%	36.9%	38.2%

（出典）【2020年（令和2年）以前】総務省「国勢調査結果」、【2025年（令和7年）以降】東京都「東京都世帯数の予測」を基に作成

## 2 西東京市の認知症高齢者数、在宅療養者数について

西東京市の認知症高齢者の日常生活自立度がⅡ以上の認知症高齢者の数は、2019（令和元）年度に6,236人となっており、増加傾向にある。

※認知症高齢者の日常生活自立度がⅡは、「日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注視していれば自立できる」状態である。

	2016（平成28） 年度	2019（令和元） 年度	
認知症高齢者数	5,564人	6,236人	1.1倍

在宅医療（訪問診療、訪問看護）の利用者は、年々増加傾向にあり、2015（平成27）年度から2021（令和3）年度までの6年間で1.7倍に増加している。

	2015（平成27） 年度	2021（令和3） 年度	
在宅医療利用者数	898人	1,554人	1.7倍

## 3 西東京市の65歳健康寿命

東京都福祉保健局が公表している「65歳健康寿命※（東京保健所長会方式）結果」によれば、平成30年から令和2年までの3年間で男性・女性ともに0.37歳の増に留まっている。

※65歳健康寿命(歳) = 65歳 + 65歳平均自立期間(年)（要介護2以上になるまでの平均期間）

	2018（平成30）年	2019（令和元）年	2020（令和2）年
男性	82.90歳	83.12歳（+0.22歳）	83.27歳（+0.15歳）
女性	85.58歳	85.67歳（+0.09歳）	85.95歳（+0.28歳）

## 4 地域包括支援センター相談・対応件数

地域包括支援センターの相談・対応件数は増加傾向にあり、件数が最も多い「介護保険サービスの利用（総合事業含む。）」は、平成30年度から令和3年度までにかけて1.2倍、2番目に多い「医療」は1.1倍増加している。また、新型コロナウイルス感染症に伴う対応などもあり、「状況確認」の件数が1.8倍と大幅に増加している。

	2018（平成30） 年度	2021（令和3） 年度	
介護保険サービスの利用（総合事業含む。）	37,945件	45,677件	1.2倍
医療	7,852件	8,569件	1.1倍
状況確認	7,483件	13,688件	1.8倍
その他	27,105件	25,450件	0.9倍
合計	80,385件	93,384件	1.2倍

## 5 フレイル認知度

市内在住の75歳以上（要支援・要介護の認定を受けている方を除く。）の方のうち、「フレイル」という言葉を知っている人は、2018年から2021年までの3年間で、2.0倍に増加している。「聞いたことはある。」と答えた方を含めた割合は、2021年には、59.2%となる。

	2018（平成30） 年度	2021（令和3） 年度	
「フレイル」の認知度	19.6%	40.0%	2.0倍

# 西東京市の高齢者・介護保険を取り巻く状況②

## 6 介護保険のこれまでの対象者・利用者の増加

介護保険制度は、制度創設以来21年を経過し、65歳以上被保険者数が約1.7倍に増加する中で、サービス利用者数は5.2倍に増加。

### ① 65歳以上被保険者の増加

	2000 (平成12) 年 4月末	2022 (令和4) 年 4月末	
第1号被保険者数	28,394人	49,992人	1.7倍

### ② 要介護（要支援）認定者の増加

	2000 (平成12) 年 4月末	2022 (令和4) 年 4月末	
認定者数	2,774人	10,911人	3.9倍

### ③ サービス利用者の増加

	2000 (平成12) 年 4月末	2022 (令和4) 年 4月末	
居宅サービス	1,193人	6,825人	5.7倍
施設サービス	626人	1,308人	2.1倍
地域密着型サービス	—	1,243人	—
合計	1,819人	9,376人	5.2倍

## 7 これまでの介護サービス費の増加

制度創設以来の21年間で、居宅サービス費は5.9倍、施設サービス費は1.7倍、サービス費の合計は3.6倍に増加。

	2000 (平成12) 年 4月末	2022 (令和4) 年 4月末	
居宅サービス	1,458百万円	8,576百万円	5.9倍
施設サービス	2,578百万円	4,479百万円	1.7倍
地域密着型サービス	—	1,672百万円	—
合計	4,036百万円	14,727百万円	3.6倍

## 8 西東京市の受給者1人当たり給付費（月額）

2021年（令和3年度）の西東京市のサービス受給者1人当たり給付費（月額）は132,045円で、多摩26市平均よりも高い水準にある。

	西東京市	多摩26市平均
在宅及び居住系サービス費	132,045円	126,381円

2021年（令和3年度）の高齢者の年齢構成を見ると、西東京市の80歳未満の高齢者割合は東京都平均・全国平均よりも低いが、85歳以上の高齢者割合は東京都平均・全国平均を超える水準にある。要介護認定率は、85歳を超えると急速に上がる傾向にあるため、西東京市の受給者1人当たり給付費と85歳以上高齢者の割合は、密接な関係にあると考えられる。

	西東京市	東京都平均	全国平均
65歳以上70歳未満	21.3%	21.5%	22.1%
70歳以上75歳未満	23.4%	24.3%	24.6%
75歳以上80歳未満	20.1%	20.9%	20.3%
80歳以上85歳未満	15.9%	15.9%	15.3%
85歳以上90歳未満	11.9%	10.7%	10.5%
90歳以上	7.4%	6.7%	7.1%

## 9 今後の展望

- 今後、総人口は減少していくものの、高齢者人口は増えていく。2025（令和7）年以降は、「高齢者の急増」から「現役世代（担い手）の急減」に局面が変化することが見込まれる。
- 国の資料によれば、75歳以上人口は、2000（平成12）年以降、急速に増加してきたが2025（令和7）年までの10年間も増加を続けるものと見込まれる。また、85歳以上の人口は、2015（平成27）年から2025（令和7）年までの10年間、75歳以上人口を上回る勢いで増加し、2035（令和17）年頃まで一貫して増加するものと見込まれる。
- 西東京市においても、85歳以上人口の急増が顕著であり、今後も介護予防及び認知症対策の重要性はさらに高まるとともに、介護サービス費の状況を注視する必要がある。
- 効果的な自立支援・重度化防止の取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスCの実施等により、要支援状態になった方が「元の暮らし」へ戻るための仕組みの構築等により、介護予防の取組をより効果的に推進する必要がある。
- フレイル予防に関する取組として、市民ボランティアである「フレイルサポーター」と連携し、フレイルチェックを令和3年度は市内各所で44回実施した。また、フレイルチェックでの「気づき」を行動変容につなげるため、「ミニ講座」を13回実施した。気づきと行動変容につなげる場として、継続的に実施していく必要がある。
- 2040年を視野に入れながら、介護保険事業の持続的な運営とともに、認知症等になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができ、健康になること、健康であることを応援できるまち「健康」応援都市の実現を目指し、健康寿命の延伸に向けた様々な取組を、令和5年度に策定する「第9期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に位置付ける。